

株主のみなさまへ

## 第100期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

## ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第100期（2019年3月期）の営業概況をご報告し、中期経営課題と次期の見通しについてご説明させていただきます。ご一読を賜り、当社へのご理解を一層深めていただければ誠に幸いに存じます。

2019年6月

代表取締役社長 **片岡 和喜**



**Q** 第100期を振り返り、営業概況を総括願います。

**A** 太陽電池向け電着ダイヤモンドワイヤの売上が縮小。  
営業利益・経常利益は大幅減益となりました。

当期は、輸送機器業界・機械業界向けの関連工具が堅調に推移し、売上を伸ばした一方で、中国を主とする太陽電池向け電着ダイヤモンドワイヤの受注減少を受け、電子・半導体業界向け売上が減少しました。売上構成比が大きい電子・半導体業界向けの減収に伴い、全体の売上高は前期比で約1割減少し、営業利益・経常利益も大幅な減益となりました。

業界別に振り返ると、電子・半導体業界では、メモリーや各種センサーの生産が増加し、関連工具が販売を伸ばしたものの、携帯端末等の生産減により関連部品製造用工具

の販売が減少しました。加えて前述の通り、太陽電池向け電着ダイヤモンドワイヤの売上が縮小したことから、電子・半導体業界向け売上高は、約3割の減収となりました。

輸送機器業界においては、国内及びアジア、インドにおける自動車生産台数の増加を背景に、高精度歯車加工用工具、コンパクト工具、CBNホイールの販売を伸ばし、増収となりました。また機械業界でも、自動車・二輪車向け生産が好調に推移し、国内外で工作機械等の生産が増加する中、関連工具の拡販が成果を上げ、増収となりました。

石材・建設業界では、公共・民間ともに工事量の減少が続く中で、関連工具の販売が伸びず、石材関連工具も低調に推移したことから、減収となりました。

以上の結果、当期の連結業績は、売上高410億46百万円（前期比9.7%減）、営業利益25億63百万円（同44.8%減）、経常利益31億8百万円（同38.7%減）となりました。前期は

減損損失を特別損失に計上していたため、親会社株主に帰属する当期純利益は、23億21百万円（同43.7%増）となりました。

期末配当は1株当たり8円を実施し、中間配当の同6円と合わせ、年間配当金は同14円となりました。

## Q 「中期経営課題」と現在の取り組みについてご説明願います。

A **主要テーマは製造・開発体制の構築と海外展開におけるシフト。**  
今後策定の新中期経営計画につなげます。

太陽電池市場における電着ダイヤモンドワイヤの受注減少や、自動車のEV化など、当社を取り巻く市場環境は一段と厳しさを増しております。当社はこうした状況の中、今後進むべき中長期的な方向性を定めるために、三つのテーマから成る「中期経営課題」を公表しました。

課題の一つ目は「新たな製造・開発体制の構築」です。2020年度中に稼働予定の千葉新工場を軸に、国内の各製造・開発拠点の役割を見直し、今後の需要拡大が見込める製品の生産能力を強化した新体制を構築します。

二つ目は「戦略的な海外展開」です。地域ごとの市場ニーズと現在の海外拠点体制のギャップを認識した上で、これを合致させるべく、各拠点の役割を明確化し、機能の拡充を図ります。その一環として当社は、インド販売代理店 SOLWAY INTERNATIONALの子会社化を予定しており、今後インド市場へ本格参入してまいります。また業務提携した研削砥石及び関連製品の製造・販売を世界展開するチロリット社との製品の相互供給を通じたグローバル販売ネットワークの拡大を進めてまいります。

そして三つ目に、これらの課題解決に求められる「人材の育成・効率的な人員配置」を掲げ、実行していきます。

当社は、この「中期経営課題」にもとづく取り組みと並行して、「新中期経営計画」を策定し、中長期的な成長戦略を構築してまいります。

## Q 第101期の見通しについてお聞かせください。

A **世界経済の減速感や国内経済も景気後退リスクがくすぶる中、業績回復に向け、全力を尽くしてまいります。**

次期の見通しにつきましては、米中貿易摩擦激化の影響により、世界経済は減速感があり、国内経済においても消費税率の引き上げによる影響等もあり、不透明感が増しております。

このような状況の中、当社は販売活動を国内外で積極的に事業展開するための施策の1つとして、欧州の工具メーカーであるチロリット社と業務提携を行い、製品の相互補完を進めております。

また、電着ダイヤモンドワイヤの販売は引き続き減少することが見込まれますが、IoT、AI等で需要が今後も見込まれる半導体業界、EV化や環境対策で新たな需要が見込まれる自動車業界、軸受業界向け製品の増産を進め、電着ダイヤモンドワイヤの販売減を埋めるべく、努力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 第101期の連結業績予想（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

売上高	39,200百万円	（当期比 4.5%減）
営業利益	1,510百万円	（当期比 41.1%減）
経常利益	1,950百万円	（当期比 37.3%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200百万円	（当期比 48.3%減）
年間配当金	1株当たり10円	（中間4円、期末6円）

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

# 旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

## 電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor

太陽電池向け電着ダイヤモンドワイヤの受注が大幅に減少したことから、業界全体の売上高が大きく減少し、売上高は136億26百万円(前期比29.2%減)となりました。



売上構成比

33.2%

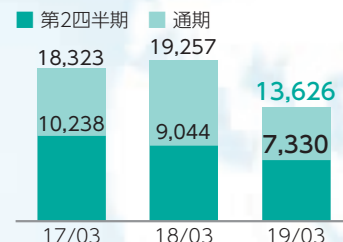


売上高

13,626百万円



売上高 (単位: 百万円)



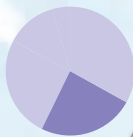
## 輸送機器業界

Transportation

開発に注力してきた高精度歯車加工用工具の拡販、コンパクト工具、CBNホイールの増販により、自動車関連工具の販売は大きく増加したことから、売上高は99億55百万円(前期比7.0%増)となりました。

売上構成比

24.2%

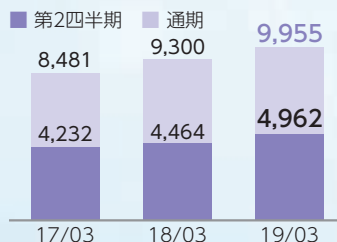


売上高

9,955百万円



売上高 (単位: 百万円)



## 機械業界

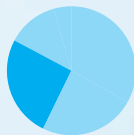
Machinery

軸受や産業機械業界で自動車や二輪車向けの生産が好調に推移し、拡販に努めてきた関連工具の販売が伸張するなど、売上高は105億8百万円(前期比6.3%増)となりました。



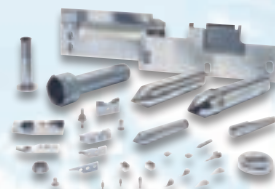
売上構成比

25.6%

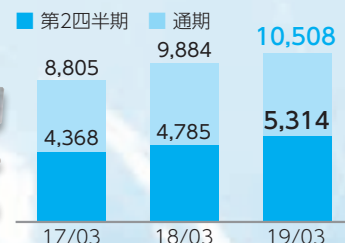


売上高

10,508百万円



売上高 (単位: 百万円)



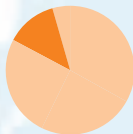
## 石材・建設業界

Stone and Construction

国内の建設業界では公共、民間とも工事量の減少が続き、石材関連工具の販売も減少したことから、売上高は51億58百万円(前期比3.6%減)となりました。

売上構成比

12.6%

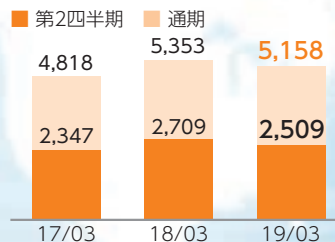


売上高

5,158百万円



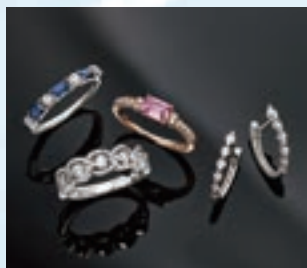
売上高 (単位: 百万円)



## その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は17億96百万円(前期比8.0%増)となりました。



売上構成比

4.4%

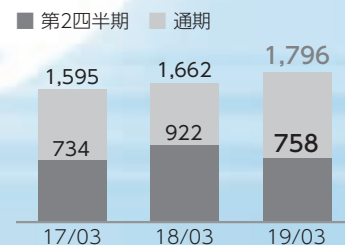


売上高

1,796百万円



売上高 (単位: 百万円)



日本

(単位:百万円)

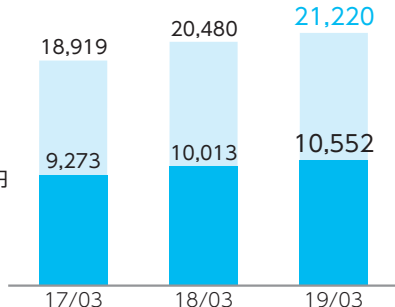
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

21,220百万円

売上構成比

51.7%



台湾

(単位:百万円)

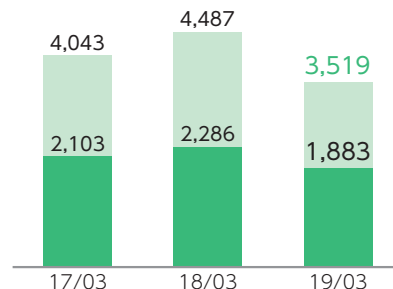
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

3,519百万円

売上構成比

8.6%



中国

(単位:百万円)

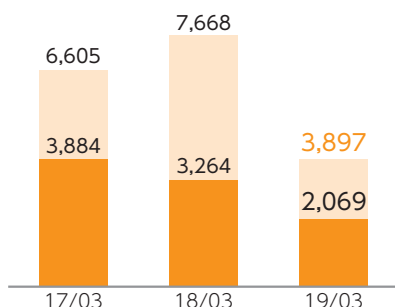
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

3,897百万円

売上構成比

9.5%



その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

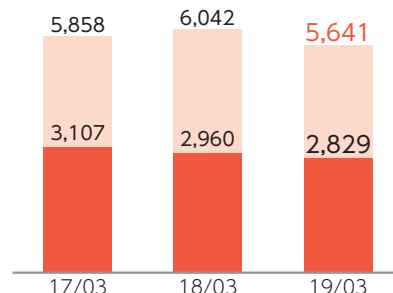
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

5,641百万円

売上構成比

13.7%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

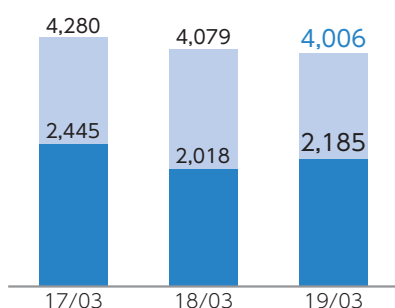
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

4,006百万円

売上構成比

9.8%



その他

(単位:百万円)

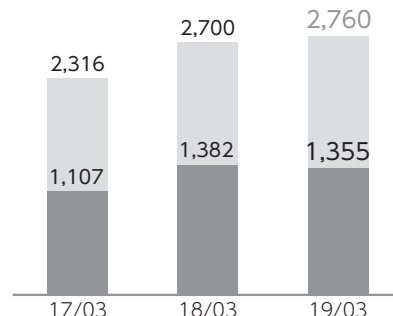
■ 第2四半期  
■ 通期

売上高

2,760百万円

売上構成比

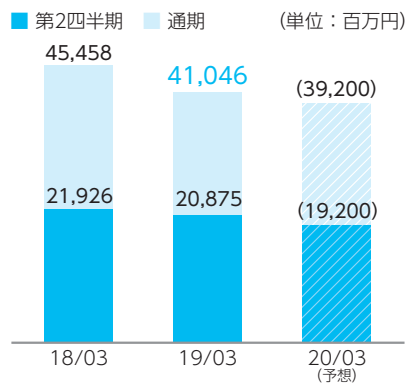
6.7%



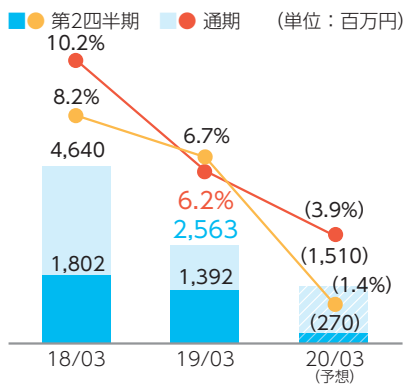
当期の  
業績のポイント

売上高	41,046 百万円	(前期比 9.7% 減↓)
経常利益	3,108 百万円	(前期比 38.7% 減↓)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,321 百万円	(前期比 43.7% 増↑)
年間配当金	14 円	(前期比 1 円 増↑)

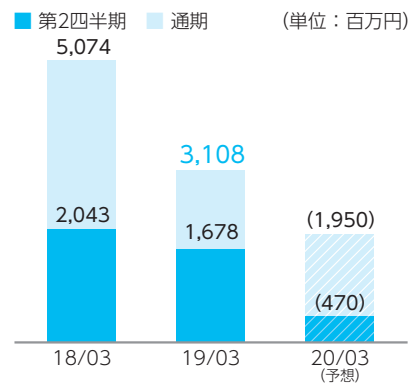
売上高



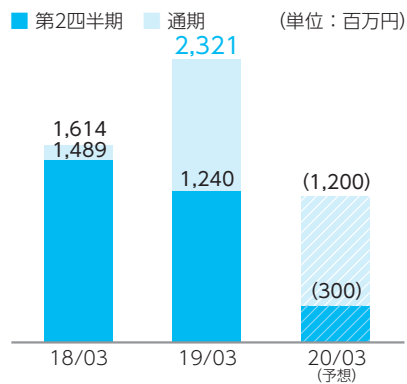
営業利益及び売上高営業利益率



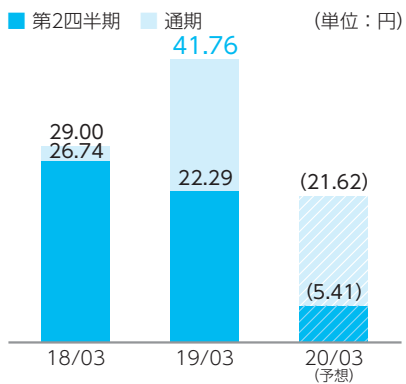
経常利益



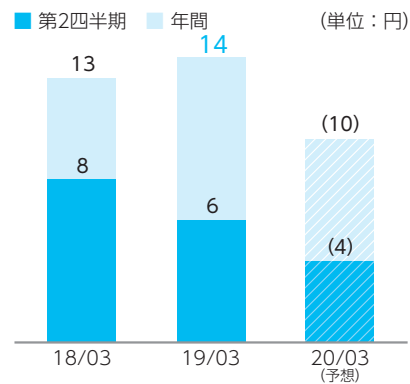
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



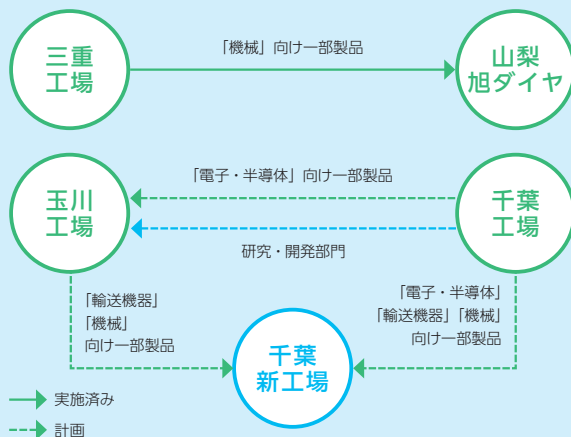
1株当たり配当金



## 中長期経営課題と現在の取組み

## 中長期経営課題

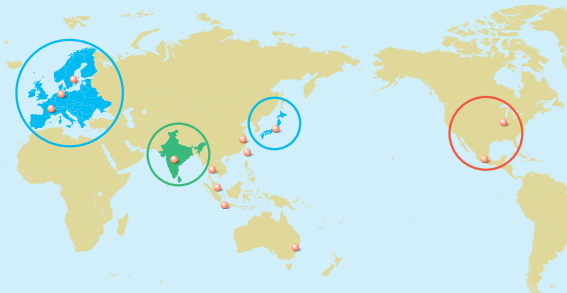
## 新たな製造・開発体制の構築



- 今後需要拡大が見込まれる製品の生産能力を増強し、営業基盤を拡大する事により、業容の拡大を図る
- 既存国内製造・開発拠点の役割を見直し、効率的な製造・開発体制を再構築する

## 戦略的な海外展開

- チロリット社との業務提携
- 当社グループ拠点
- インド市場の拡販
- 北米市場の拡販



- 地域毎の市場ニーズと当社体制のギャップを明確化した上で、ギャップを埋める最適な海外拠点体制を構築する
- 海外拠点の役割を明確化する
- 海外子会社の内部統制状況等の管理強化を図る

## 人材の育成・効率的な人員配置

上記の課題を念頭に、各部門で必要とされる具体的な人材イメージを固め、人材育成を図るとともに効率的な人員配置を実現

中期経営計画に繋げていく



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2019.3.31	前期 2018.3.31
<b>資産の部</b>		
流動資産	35,012	38,029
固定資産	38,035	36,648
有形固定資産	21,576	19,919
無形固定資産	143	107
投資その他の資産	16,315	16,621
<b>資産合計</b>	<b>73,047</b>	<b>74,678</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,515	6,421
固定負債	8,504	8,548
<b>負債合計</b>	<b>14,019</b>	<b>14,969</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	55,443	53,898
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	44,367	42,671
自己株式	△ 155	△ 4
その他の包括利益累計額	2,299	4,522
その他有価証券評価差額金	2,505	3,786
土地再評価差額金	160	162
為替換算調整勘定	△ 319	589
退職給付に係る調整累計額	△ 46	△ 16
非支配株主持分	1,285	1,287
<b>純資産合計</b>	<b>59,028</b>	<b>59,708</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>73,047</b>	<b>74,678</b>

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2018.4.1 から 2019.3.31 まで	前期 2017.4.1 から 2018.3.31 まで
<b>売上高</b>	<b>41,046</b>	<b>45,458</b>
売上原価	30,184	32,035
売上総利益	10,861	13,423
販売費及び一般管理費	8,297	8,782
<b>営業利益</b>	<b>2,563</b>	<b>4,640</b>
営業外収益	565	449
営業外費用	20	15
<b>経常利益</b>	<b>3,108</b>	<b>5,074</b>
特別利益	195	26
特別損失	0	2,451
税金等調整前当期純利益	3,303	2,649
法人税等	850	945
当期純利益	2,452	1,704
非支配株主に帰属する当期純利益	130	89
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,321</b>	<b>1,614</b>

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2018.4.1 から 2019.3.31 まで	前期 2017.4.1 から 2018.3.31 まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,449	6,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,144	△ 2,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 914	△ 939
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 310	86
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,920	3,192
現金及び現金同等物の期首残高	18,468	15,276
現金及び現金同等物の期末残高	16,548	18,468

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <https://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR

### 株式の状況

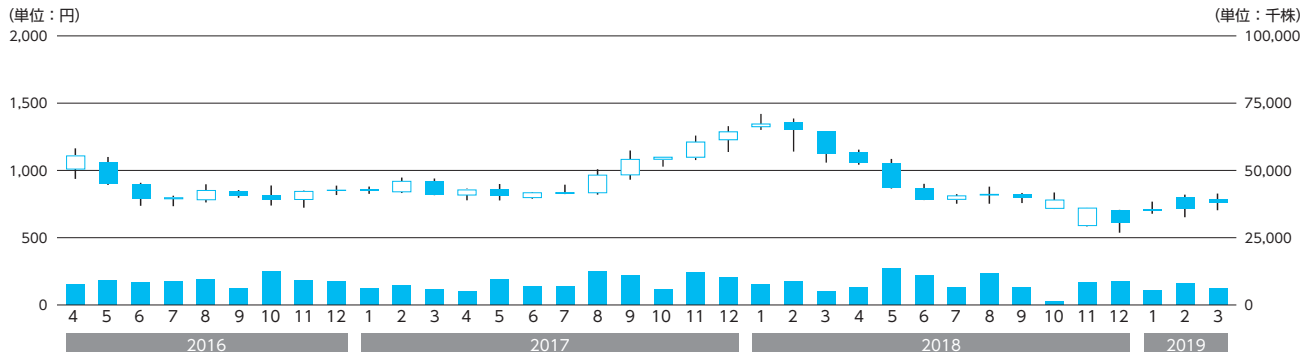
発行可能株式総数 190,300,000株  
 発行済株式の総数 55,700,000株  
 株主数 14,240名

### 大株主 (上位10名)

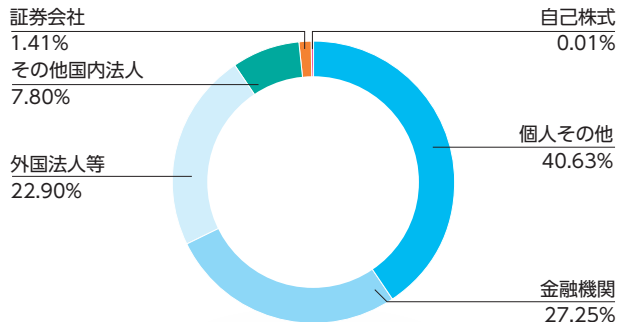
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,742	6.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,144	3.85
旭ダイヤモンド社員持株会	1,509	2.71
株式会社三菱UFJ銀行	1,384	2.49
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,182	2.12
日本生命保険相互会社	1,039	1.87
旭ダイヤ共栄持株会	1,028	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,028	1.85

(注) 1. 持株比率の計算は、自己株式6,408株を除いて計算しております。  
 (注) 2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

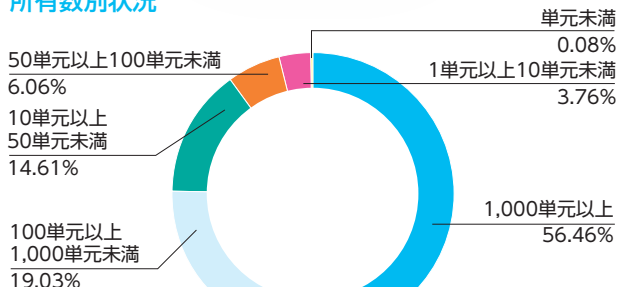
### 株価・出来高推移



### 所有者別状況



### 所有数別状況



## 会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社  
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.  
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号  
 設立年月日 1937年10月9日  
 資本金 4,102,188,450円  
 従業員数 1,040名 (連結 2,208名)

## 役員 (2019年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	藍敏雄
取締役	谷口和昭
取締役	萩原利昌
取締役	阿部英夫
取締役	原智彦
取締役(社外)	小山修
取締役(社外)	永田新一

### 監査役

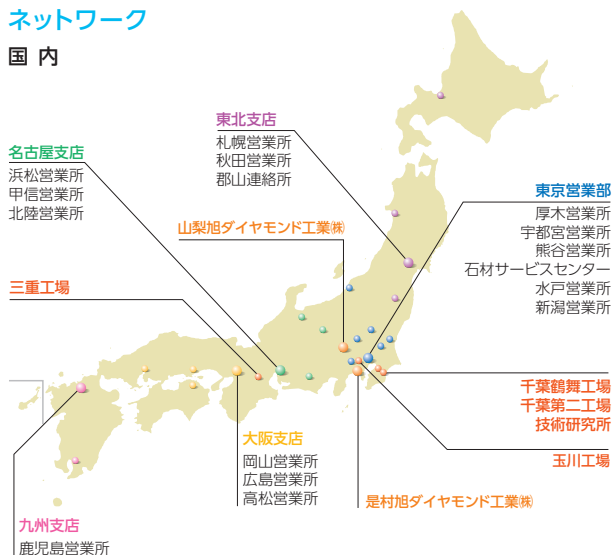
常勤監査役	香山盛夫
監査役(社外)	大高由紀夫
監査役(社外)	川嶋誠人

### 執行役員

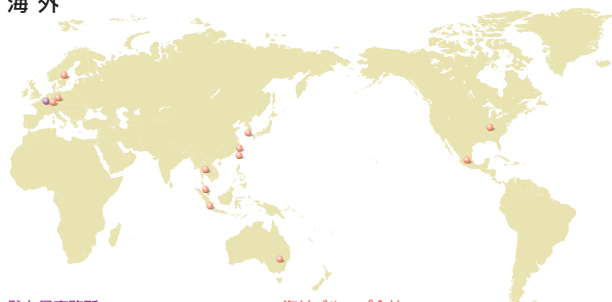
常務執行役員	大河内孝夫
常務執行役員	滝口明
執行役員	井元修三
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	小浦雅美
執行役員	佐藤公一
執行役員	澤田穰
執行役員	日下部均

## ネットワーク

### 国内



### 海外



<b>駐在員事務所</b>	<b>海外グループ会社</b>	
ヨーロッパ駐在員事務所 (フランス)	上海旭ダイヤモンド工業	(中国)
	台湾旭ダイヤモンド工業	(台湾)
	新韓ダイヤモンド工業	(韓国)
	旭ダイヤモンドタイランド	(タイ)
	旭ダイヤモンドインドネシア	(インドネシア)
	旭ダイヤモンドマレーシア	(マレーシア)
	旭ダイヤモンドオーストラリア	(オーストラリア)
	旭ダイヤモンドアメリカ	(アメリカ)
	旭ダイヤモンドメキシコ	(メキシコ)
	旭ダイヤモンドヨーロッパ	(フランス)
	旭ダイヤモンドドイツ	(ドイツ)
	旭ダイヤモンドスウェーデン	(スウェーデン)

## 株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.asahidia.co.jp/)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



## WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

